



2020年1月14日

各 位

上場会社名 イーサポートリンク株式会社  
(JASDAQ・コード番号 2493)  
本店所在地 東京都豊島区高田二丁目 17 番 22 号  
代 表 者 代表取締役社長 堀 内 信 介  
問 合 せ 先 経営企画室長 土 戸 健 一  
電 話 番 号 03-5979-0666

## 中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2020年11月期から2022年11月期までの3か年を計画期間とする中期経営計画を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 1. 中期経営計画策定の背景

当社は、「全ては生産者と生活者のために」を経営理念として、全国の生産者、流通業者、小売業者などに、クラウド型の基幹システムの提供と、業務受託サービスを主な事業として展開してまいりました。昨今、当社を取り巻く生鮮流通業界は、労働人口の減少と高齢化による人手不足問題、業界にかかわる法律改正、情報技術の進展、異業種参入による競争の激化などにより、流通構造が大きく変化しております。

そのような不確定要素の多い時代に、当社が目指す長期的なあるべき姿、経営基本方針を明確にし、持続的な成長を実現するために中期経営計画を策定いたしました。

### 2. 中期経営計画の概要

#### (1) 長期的なあるべき姿

変化する市場の役割に対して、システムと業務受託で青果流通にかかわるすべてのプレイヤーをサポートすることで、圧倒的な優位性をもつオペレーション会社になる。

#### (2) 長期方針

- ・青果物流通業界に必要なサービスを新たに創造し、高いレベルで提供する。
- ・どこよりも安く高品質なオペレーションサービスを提供する。
- ・誰でもどこでも簡単に利用できるサービスを提供する。
- ・時代の変化にリアルタイムで対応し、常に新しい技術を導入し続ける。

#### (3) 中期経営戦略

- ・既存事業領域においては、顧客との関係性を高めニーズに応えることで顧客満足度の向上と売上アップを目指し、また、運用コストの低減を図ることで利益最大化を実現する。
- ・新たに取り組んでいる成長事業領域においては、国産青果プラットフォーム構想の実現、物販をはじめとした戦略事業を成長事業として位置付け、事業性評価を行いながら積極的に投資を行い、第3の柱となる事業をこの3年で構築する。
- ・人工知能をはじめとしたテクノロジーの進化による顧客や競合の変化に対応したサービス開発できる体制を構築する。
- ・これらの戦略を実行できる人材を採用育成するために必要な人事制度改革、働き方改革の実施、採用及び研修の見直し等の人事施策を行う。

(4) 連結数値目標

	2019年11月期 実績	2022年11月期 業績目標
売上高	百万円 5,562	百万円 7,750
営業利益	261	1,062

(注) 本資料の業績計画ならびに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。そのため、諸要因の変化により、実際の業績は大きく異なる可能性があります。

以 上